

## 「国際畜産総合展2027 from IPPS」の開催について

調査情報部

当機構は、令和9年5月19～21日に愛知県で開催される「国際畜産総合展2027 from IPPS」（主催：公益社団法人中央畜産会）を後援していますので、ご紹介します。



会期：2027.5/19[水]・20[木]・21[金]  
会場：愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)  
【愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号】  
主催：公益社団法人 中央畜産会

後援：農林水産省、愛知県、常滑市、日本中央競馬会、地方競馬全国協会、(独)農畜産業振興機構、(公財)全国競馬・畜産振興会、  
(独)家畜改良センター、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、(公社)日本獣医師会、(公社)日本畜産学会

畜産業に関わる全ての方々が  
参加可能！

生産者、獣医療、行政、畜産関係団体、  
試験・研究機関・団体、大学・学校、  
各種メーカー（施設・機械、飼料、肥料、動物用医薬品、家畜改良、環境、加工・流通）等

施設・機械の展示以外にも  
多数イベントを開催！

専門家による講演会・セミナー、  
大学・研究機関等による情報発信、企業プレゼンテーション、  
屋外でのデモンストレーション展示 等

**ご出展・ご来場をお待ちしております！**

## ごあいさつ

世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まり、地球環境問題への対応、海外の市場の拡大などにより、我が国の農業・畜産は大きな転換期を迎えております。国は令和6年5月に「食料・農業・農村基本法」を改正し、畜産においても「酪農及び肉用牛の近代化を図るための基本方針」等、畜産施策に関する基本方針を示しました。このことにより、日本の畜産は新たなステージに入ったと言っても過言ではありません。

今こそ畜産業に携わる全ての方々が一堂に会し、これまでの経験や知識、技術、研究開発等について情報を発信することにより、日本の畜産が持つ「力」を世界に示すときだと思います。

そのために、中央畜産会では歴史ある「国際養鶏養豚総合展(IPPS)」に酪農・肉用牛分野を加えた総合展「国際畜産総合展(ILE JAPAN) from IPPS」を令和9年5月に愛知県常滑市で開催することといたしました。是非多くの皆様にご出展、ご参加いただき、皆様と一緒に日本の畜産の未来を広げていきたいと考えております。

思い起こせば30数年前、私たちの先代が「出展者が展示しやすい価格で出展者も来場者も満足する展示会」を目指して名古屋市の吹上ホールで開催したのが「第1回国際養鶏養豚総合展1992」でした。以降3年に1度のペースで開催を予定するも、途中、鳥インフルエンザや口蹄疫、新型コロナウイルスの蔓延などにより、延期、中止を余儀なくされることもありました。これらの苦難を乗り越え2024年には第10回を開催するに至りました。

新名称に「from IPPS」と付けたのは、従来の国際養鶏養豚総合展(IPPS)の想いをつなぎ、さらに発展させるとの決意を込めたものです。

『国際畜産総合展2027 from IPPS』は、従来の養鶏養豚分野のみならず、畜産業に関わる全ての方々のご出展、ご参加が可能ですので、是非とも貴社製品のプロモーションの場としてご利用いただけますようお願い申し上げます。

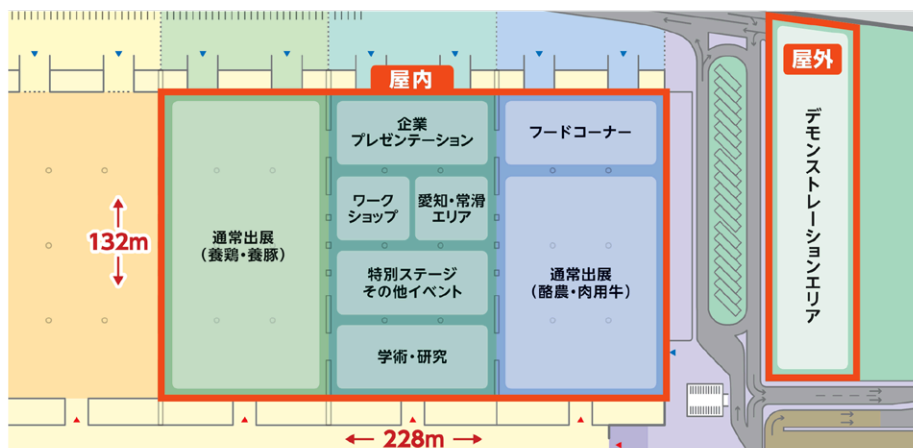


公益社団法人 中央畜産会  
会長 森山 裕



公益社団法人 中央畜産会  
国際畜産総合展開催実行委員会  
委員長 中島 功雄

## 会場イメージ

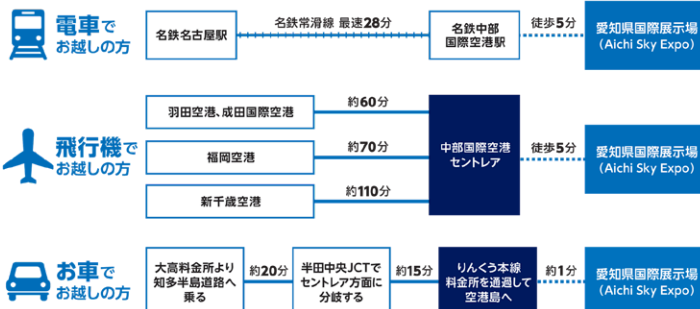


※レイアウトはイメージです。実際のレイアウトは未定となります。

## アクセス

### 愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)

愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号



## お問い合わせ

### 公益社団法人 中央畜産会 国際畜産総合展事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2  
第2ディーアイシービル9F

TEL.03-5577-5707

【受付時間】土日・祝日を除く平日10:00~17:00

E-mail: [ipps@jlja.jp](mailto:ipps@jlja.jp)

公式ホームページ▶

<https://ipps.gr.jp>

